

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2670500376		
法人名	社会福祉法人 洛和福祉会		
事業所名	洛和グループホーム久世1階		
所在地	京都市南区久世上久世町34-2		
自己評価作成日	平成29年6月15日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/26/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kani=true&JigyosyoCd=2670500376-00&PrefCd=26&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人 あい・ライフサポートシステムズ		
所在地	京都府京都市北区紫野上門前町21		
訪問調査日	平成29年7月5日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

開所して11年。当年からの入居者様も数名おられ利用者様にとって馴染みの場所になってきているとおもいます。職員の在籍も半数以上が5年以上になりチームワークも良好です。常勤、非常勤が団結してケアプランに基づき日々のケアにあたっています。体調管理においては、訪問看護、往診医との連携を強みになるべく入院者を出さないように日々の健康管理に努めています。地域との連携は開設以来、食材、生花の配達を継続しており、向かいの保育園との交流は朝の体操をはじめ月ごとの行事で園児の訪問をうけています。加えて日舞、ウクレレ、フラダンスのボランティアさんにも定期的に来ていただき楽しいひとときを過ごしてもらっています。地域がら田園、畑の景色が多く残って自然に恵まれている中、大型商業店舗も近くに増えて、行事外出等、皆様喜ばれて利用しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

2006年開設の事業所は、田畑やお寺・保育園に囲まれたのどかな風景の中にあります。また、大きな国道や大型スーパーが程良い近さにあり生活の利便性にも優れています。調査訪問当日に、向かいにある保育園から園児の訪問があり、歌の披露・プレゼントの手渡しや園児と握手をかわし、笑顔や感激し涙ぐまれる入居者の様子から、心温まる交流の様子を伺うことができました。食事を楽しみにされている入居者が多く、日々の生活の中で大きな役割りとして、職員と共に献立を考えたり、調理や準備・片付けなど一人ひとりに合わせた支援を心掛けています。一口大カットやミキサー食など形態だけでなく、食材毎にミキサーにかけるなど見た目・彩りにも気配りをされています。運営推進会議の参加、お花見やお祭りに同行、洛西にあるホテルで行う敬老会では家族によるバイオリン演奏・入居者の詩吟・

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「日々楽しく」を職員が実感し、利用者の方が笑顔になるように過ごしている。	法人理念は毎日唱和しています。開所当時の事業所独自の「日々楽しく」を新しい職員にも伝え、法人内の研修の際にも事業所のアピールとして活用しています。楽しく過ごすために必要なことを、ケアプラン作成に反映させています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	向かいにある保育園の園児との交流、食材の購入で繋がっている。	事業所の向かいにある保育園とは、季節毎に訪問を受けたり、週に1回園庭に出向き園児と体操を行うなど交流を深めています。自治会に参加し、大型ごみの回収や草引きの協力、近隣の養鶏場やスーパーから食材の配達など、地域との関わりを大切にしています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	年に一回、南区認知症サポートネットワーク、地域包括の協力のもとで「認知症サポーター講座を開催しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回の運営推進会議で話し合い色々な意見をもらい向上につなげていくようにしている。	家族・高齢サポート担当者・職員が参加して、2ヶ月に1回開催しています。家族へは毎回案内を行い、少なくとも2、3名の参加があります。近況報告・事故報告の他、参加者と意見交換を行っています。	以前は自治会長や地域の方の参加があったようです。声かけを継続すると共に、参加しやすい曜日・時間に変更しての開催を試みてはいかがでしょうか。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	南区介護保険サービス連絡会に参加をして連携を図っている。職員も積極的に参加するようにしている。	運営推進会の議事録を役所へ届けています。区が企画する「南区の認知症サポートネットワーク」に参加し、保育園年長児を対象に、分かりやすく寸劇にてサポーター養成講座の開催に協力しています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを参考に職員一同で取り組んでいる。	法人統一の介護マニュアルがあり、年1回の内部研修に参加し、身体拘束について常に意識しています。センサー使用に関しては、家族に説明し同意書を得るとともに、毎月見直し、外せる方向を検討しています。職員どおしで声かけし、スピーチロックにならないように気をつけています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内の虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルを参考に職員一同で取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	入居者の方で後見人を活用されている方はおられるが、学ぶ機会がなく詳しくまではわかっていない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	書面を使いしっかりと時間を使い行なっている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に参加を案内している。又年に2回アンケートを配布して改善の機会を伺い改善していつている。	運営推進会議の参加を毎回案内し、満足度調査を年2回実施しています。面会時には日常の様子を伝え意見を聞くようにしています。脱衣所のエアコン設置や、においの指摘に対してトイレの掃除の回数を増やし改善に努めています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	随時ミーティングを行い話を聞いている。また職員アンケート、面談で意見を取り入れている。	職員ミーティングでは、入居者のケアについて意見を出して、話し合いを行っています。職員用・入居者用の連絡ノートを活用し、情報の共有や意見の収集を行っています。管理者は年1回「自己申告書」を基にした面接の他、随時聞き取りを行い、体調・勤務・人間関係にも対応しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務関係は出来る限り希望を聞いている。皆が働きやすいようにしっかりとコミュニケーションをとるように心掛けている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	能力に応じて研修を受けられるように調整をしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	組織内で勉強会をして質の向上につなげている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	最初の面接にて家族の方の困っている事望んでおられる事を把握して関係作りに努めセンター方式に記入して貰っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	他のサービスはグループホーム以外のサービスに何があるかを説明をし検討をしてもらっている。(訪問マッサージ、訪問歯科等)		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者の得意とするものを継続して行ってもらえるように配慮している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の生活を基本に一方的なケアにならず、いつも尊重した気持ちをもっている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族様とは出来る限りの情報を共有している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族様のご協力も得て面会や外出を継続している。	地域からの入居者は半数以下であり、個別外出で誕生日に本人の行きたいところへ職員と2対1で出かけています。家族の協力で、自宅や墓参りにも出掛けています。また、農作業をされていた方に水やりや、華道をされていた方に生け花など習慣を継続できるよう支援しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を常に把握をし同じ趣味の方は同じことをしてもらったりしながら生活への活力につなげている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後にも連絡をしその後の様子などを聞いたりしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段の会話などから本人の意向を聞きもらさずに気をつけている。また、本人の希望を一番に考えプランにつなげている。	日々の関わりの中で得た入居者の言葉を記録に残しています。家族から情報を得たり、コミュニケーションを積み重ね、日常の様子から感じ取った情報を話し合い共有し、意向の把握に努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式等で本人の生活環境の把握、馴染みの把握を行なっている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝、夕の申し送りにて一日の把握を職員で行なっている。毎月の振り返りシートで情報や希望を把握している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成には本人、家族、訪問看護、医師の希望を取り入れプランに反映させている。	「希望記入用紙」を活用し、本人・家族・医師・看護師の意見を聞き取り、職員の意見も反映したケアプラン作成に努めています。また、「プラン作成計画及び管理表」を用いて、入院・区分変更・更新など、作成時期の管理をしています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録には本人のそのままの言葉を記入している。又一日の申し送りにて職員間で共有しプランにつなげている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	常に家族の方の情報を聞き臨機応変に対応を心掛けている。日々の変化に対応できるように心掛けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防訓練、非難訓練をおこなっている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診を基本としているが、最初にかかりつけ医を聞き希望がある方にはかかりつけ医に診てもらっている。	契約時はかかりつけ医のかたも、身体状況の変化に伴い本人や家族の希望で往診医に変更されています。往診医とは、緊急時に電話による24時間対応できる関係が構築されています。家族送迎で受診を行う際は、家族との情報交換を適時行っています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	24時間連絡体制があるので看護師との相談、連携はとれている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には病院の相談員と連携をいつでも取れるようにしている。入院時には毎回どのような状況かを連絡して把握に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人、家族の意向を尊重して希望にそえるようにしている。	契約時に重度化に関して説明をし同意を得ています。法人の研修を受けていますが、家族の意向により看取りの経験はありません。今後の看取りの必要性から、往診医にアドバイスを受け看取りに対する取り組みを始めるところです。	研修での知識に加えて、看取りを想定し、本人・家族の意向確認の時期、職員の不安や心積もり、医師・看護師との連携などの研修、書面の整備など看取りに向けての取り組みを期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AEDを備えている。全職員が対応できるようにしているが、定期的に訓練をしていかなければならない。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	2ヶ月に一度避難訓練の練習を行なっている。地域との連携についてはもう少し繋げていく必要がある。	年2回(昼間・夜間)消防署による消防訓練、2カ月に1回避難経路の確認・誘導など避難訓練を行っています。スプリンクラーや設備の点検も年1回実施しています。食品は法人からの支援体制が整っており、事業所では飲料水を備蓄しています。	地域へ参加の声かけをして、協力体制を構築されることを期待します。備蓄品リストを作成し、飲料水の他に必要な備品についても検討して管理されてはいかがでしょうか。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の尊厳をもった対応に心掛けている。利用者の方は皆人生の先輩として接している。	声かけは敬語を基本に、京都ならではの「しはりますか」など柔らかい言葉かけに配慮しています。人生の大先輩として、その人の人生を尊重しています。トイレ誘導の際も、耳元で他入居者に気づかれないように努めています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の行動を把握し今、何を考えておられるのかを常に考えそれに添った決定が出来るように支援をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員から動くのではなく、利用者優先で過介護にならないようにしていく。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日常的に本人と服を選んだり化粧をしている。理美容にも本人が行きたい所へ行くようにしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	共に準備、調理している。リビング、キッチンが近い事から臭いもあり自然と手伝われる事もよくある。献立も季節感を感じてもらえるものを提供したり食べたいものを聞いてきめている。	調理・洗い物など、職員と一緒にしています。包丁の扱いなど職員が教わる場合があります。食材の注文やメニューは希望を聞いて、1日のうち魚と肉のメニューをバランスよく取り入れています。1口大カット・ミキサー食など、その人に合った形態での提供を行っています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個別チェック表に摂取量、水分量を記入し一日の把握をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを実施している。訪問歯科のケア、治療をうけている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレ誘導の時間を決めずに利用者一人一人の排泄パターンを把握しトイレ、ポータブルトイレの利用等排泄の支援を行なっている。	自立以外の方は、その人に合ったパターンで声かけをしています。居室で過ごされることが多い方には、安全を配慮して昼間もポータブルトイレを使用して頂き、さりげなく排泄の確認を行い、消毒を行うなど居室の清潔保持と臭気対策に努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	なるべくトイレでの排泄を目指し食事に工夫をし利用者によって果物、牛乳を提供したりし便秘予防に努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴の日を決めずに入浴のしたいときに入ってもらえるようにしている。	週に2～3回入浴支援を行っています。トイレ誘導の流れで浴室へ誘導するなど、その人に合った声かけを行っています。シャワー浴の方は、足浴やシャワーと湯桶による湯あみを二人介助で行い、身体が冷めないように配慮しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活習慣を把握し入眠につなげている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書に職員が目を通しどのような薬なのかを把握している。また定期的に薬があっているのかを話したりしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方の生活歴、趣味などをセンター方式、家族の方から把握し日常生活の中に取り入れていくようにしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	出来る限りその方の行きたいところにいけるようにしている。しかし毎回いけることも少なく今後は家族の方、地域の方にも協力してもらい出来る限りいけるようにしていきたい。誕生日の個別外出も喜んでいただいている。	玄関のベンチ・裏庭にて1日1回の外気浴、週1回の園庭訪問を継続しています。、行事として月1回外出を企画し、ユニット毎または合同で、花見や近隣大型スーパーや交通博物館へ出掛けています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の現金は預かりにしている。買い物が行きたいと希望時には出来る限りいけるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をしたり、手紙を出したりするのは希望時には支援をしている。家族の方に確認をとっている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには行事の写真を掲示したりしている。居心地よく過ごせるようにソファを置いたりしている。	リビングには、入居者の方が活けられた生花や、行事の写真・季節の花の折り紙などが飾られています。照明は落ち着いた配色で統一されています。職員と入居者が共同して作製された大きな布製のカレンダーからも暖かさを感じます。	施設の経年もあり、清掃を兼ねて建物全体の照明器具・棚・建具等の点検をされてはいかがでしょう。照明が暗く感じる時は、時間帯や天候によって明るさを調整されてみてはいかがでしょう。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや畳スペースがあり目隠しにもなっている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内はほぼ全てが本人の者を持参して貰い使い慣れたものを使用していただいている。	全体的に部屋が広く、入居前の環境に近い状況を再現されている方や、畳の居室で布団を使用されている方やなど、本人の居心地の良い設えとなっています。転倒防止から家具を増やしたり、配置替えを行うなど、安全性を考慮した居室づくりを工夫しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室には本人の行動しやすいように置物などの設置を工夫しておいている。リビングにも食器棚の位置や家具の位置にも配慮して設置している。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2670500376		
法人名	社会福祉法人 洛和福祉会		
事業所名	洛和グループホーム久世 2階		
所在地	京都市南区久世上久世町34-2		
自己評価作成日	平成29年6月15日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/26/index.php?action_kouhouyou_detail_2013_022_kani=true&JigyosyoCd=2670500376-00&PrefCd=26&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人 あい・ライフサポートシステムズ		
所在地	京都府京都市北区紫野上門前町21		
訪問調査日	平成29年7月5日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

スタッフ一同力を合わせ、利用者様が生き活きと過ごして頂ける様に日々ケアに努めています。その為に、個々の利用者様の想いを汲み取りながら、家事や衣服の着脱等の普段の生活動作で利用者様が出来る事を見極めて出来る事はして頂き、必要以上にケアをしない様にしてADLの低下の軽減に努めています。それと共に地域との繋がりを大切にしており、近くの養鶏場やスーパーから食材を、花屋さんからはお花を配達して頂いたり、保育園の園児に来て頂いたり、お寺のお祭り等にも参加しています。毎月レクリエーションを行っており、お花見や紅葉等の四季折々を感じて頂く為に外出したり、ホームで行う際には日舞やフラダンス等のボランティアにも来て頂いて楽しんで頂ける様に努めています。又、母体が医療機関の強みを活かして定期的な往診はもちろん、緊急時には医師や看護師との速やかな連

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

1Fと同じ

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが ○ 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「日々楽しく」を職員が実践し、利用者の方が笑顔になるように努めています。	1Fと同じ	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	保育園の園児との交流をしています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	年に一回運営推進会議で認知症サポーター講座を開催して、地域の方や家族様に認知症の理解を深めて頂ける様に努めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回の運営推進会議で話し合い色々な意見を頂き、サービスの向上につなげています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	南区介護保険サービス連絡会に参加をして連携を図っています。職員も出来る限り参加するようにしています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを参考に職員一同で取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルを参考に職員一同で取り組んでいます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	入居者の方で後見人を活用されている方はおられるが、学ぶ機会がなく詳しくまでは理解出来ていない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	書面を使用ししっかりと時間を使って行っています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に参加を案内している。又年に2回アンケートを配布して改善の機会を伺い改善して行っている。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	随時ミーティングを行い話を聞いている。また職員アンケートにて職員の想いを反映する様に努めています。必要に応じて面接も行なっています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務関係は出来る限り希望を聞いている。皆が働きやすいようにしっかりとコミュニケーションをとるように心掛けている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	能力や希望に応じて研修を受けられるように調整をしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	組織内で勉強会をして質の向上につなげている。又イベントなどを通じ交流を図っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	こまめに記録を残したり、必要に応じてカンファレンスを行っています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	最初の面接にて家族の方の困っている事望んでおられる事を把握して関係作りに努めセンター方式に記入して貰っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	他のサービスはグループホーム以外のサービスに何があるかを説明をし検討をもらっている。(訪問マッサージ、訪問歯科等)		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の得意とするものを一緒にするように心掛けている。昔の仕事や趣味などを取り入れるように心掛けている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には日頃の状況等を伝えています。又、行事に参加された時や、面会時には良き時間を過ごして頂けるように配慮しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	最初の情報で馴染みの人や場所等を把握し、会話などで取り入れていくようにしている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を常に把握し、同じ趣味の方や家事等出来ることは一緒にしてもらったりしながら生活への活力につなげています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後にも連絡をとり、その後の様子などを聞いたり相談したりしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段の会話などから本人の意向を聞きもらさない様に気をつけている。また、本人の希望を一番に考えプランにつなげている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式等で本人の生活環境の把握、馴染みの把握を行なっている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りにて一日の把握を職員で行っています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成には本人の希望、家族の方の希望を聞きプランの反映に努めている。3ヶ月に一度モニタリング6ヶ月に一度プランの更新をしている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録には本人のそのままの言葉を記入したりしている。又一日の申し送りにて職員間で共有しプランにつなげている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	常に家族の方の情報を聞き臨機応変に対応を心掛けている。日々の変化に対応できるように心掛けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防訓練、非難訓練を行っている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している			
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	24時間連絡体制があるので看護師との相談、連携がとれている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には病院の相談員と連携をいつでも取れるようにしている。入院時には毎回どのような状況かを連絡して把握に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人、家族の意向を尊重して希望にそえる様になっている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AEDを備えている。全職員が使い方を忘れないように、定期的な訓練が必要である。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	2ヶ月に一度避難訓練の練習を行なっている。地域との連携についてはもう少し繋げていく必要がある。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の尊厳をもった対応に心掛けている。利用者の方は皆人生の先輩として接している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の行動を把握し今、何を考えておられるのかを常に考えそれに添った決定が出来るように支援をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員から動くのではなく、利用者優先で考えるように心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出時には、本人と服を選んだり化粧をして頂いている。定期的に訪問カットに来て頂きカットして頂いている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	共に準備、調理している。リビング、キッチンが近い事から臭いもあり自然と手伝われる事もよくある。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量が少ない方はチェック表に摂取量、水分量を記入し一日の把握をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを実施している。毎週、訪問歯科に来て頂いて、清潔保持に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレ誘導の時間を決めずに利用者一人一人の排泄パターンを把握しトイレでの排泄に支援を行なっている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	なるべくトイレでの排泄を目指し食事に工夫をし利用者によって果物を提供したりし便秘予防に努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴の日を決めずに入浴のしたいときに入ってもらえるようにしている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活習慣を把握し入眠につなげている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書に職員が目を通しどのような薬なのかを把握している。また定期的に薬があっているのかを話したりしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方の生活歴、趣味などをセンター方式、家族の方から把握し日常生活の中に取り入れていくようにしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	出来る限りその方の行きたいところにいけるようにしている。しかし毎回いけることも少なく今後は家族の方、地域の方にも協力してもらい出来る限りいけるようにしていきたい。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の現金は預かりにしている。買い物が行きたいと希望時には出来る限りいけるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をしたり、手紙を出したりするのは希望時には支援をしている。家族の方に確認をとっている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには行事の写真を掲示したりしている。居心地よく過ごせるようにソファを置いたりしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや畳スペースがあり目隠しにもなっている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内はほぼ全てが本人の者を持参して貰い使い慣れたものを使用している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室には本人の行動しやすいように置物などの設置を工夫している。リビングにも食器棚の位置や家具の位置にも配慮して設置している。		